



笹小だより



⑱令和5年3月17日号

伊丹市立笹原小学校

151人の6年生が 笹原小を卒業！



6年生のみなさんは、いよいよ週が明けた20日(月)に小学校教育課程を修了して、笹原小学校を卒業します。ご卒業おめでとうございます。

小学校生活6年間のうち半分にあたる3年間はコロナ禍により、思っていたことが出来なかったり、したかったことを我慢したりするなど、残念に思うことも多くあったのではないのでしょうか。

しかし、本当にこれまでよく我慢して、学んでくれたと思います。6年前に校門をくぐってから、長い時間だったのか、あっという間だったのかはそれぞれに感じ方が違うと思います。しかしその間に、みなさんは大きく成長してこられました。

卒業式はご案内のとおり、昨年度同様、簡素化して執り行います。児童・保護者とも一人一人の間隔を確保するため、残念ながら式場に在校生は入れません。また、6年生保護者におかれましても、2名までの参加にご協力いただき、ありがとうございます。本来でしたら、少しでも多くの皆様にご臨席いただき、祝福していただくところではありますが、現状ではやむを得ないこともあり、学校として心を込めて卒業生一人一人を送りたいと思います。

今年の卒業式には、児童・担任等教員はマスクを着用せず臨む予定です。もちろん個々の体調面や不安、その他の理由によりマスクの着用を希望する場合はそれも可としています。保護者の皆様におかれましては、マスクの着用をお願いしているところです。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

6年生の卒業をお祝いして、本校PTAから祝品として「多機能ボールペン」「卒業証書ファイル」「紅白饅頭」「コサージュ」そして「祝い花」をいただきました。ありがとうございます。

卒業式では一人一人が卒業証書を受け取るタイミングで、卒業生それぞれが考えた「今の気持ち」や「中学校に行っても頑張りたいこと」「将来の夢」などを、決意の言葉として演台横のモニターに映し出し、保護者の皆様にご披露する予定です。卒業証書を立派に受け取る姿とともに、是非ご覧ください。

これまで本校のリーダーとして、下級生の弟や妹にやさしい先輩でした。頼もしく、そして小さい子に優しく接するほほえましい姿もたくさん目にしました。卒業式の中では、その1～5年生までの在校生から送辞(贈る言葉)をメッセージとしてディスプレイを通して贈ります。5年生だけでなく、掃除や朝の準備など手伝ってもらった1年生からの言葉もあります。是非ご覧ください。

卒業しても、社会の中でその優しさを持ったまま、大人としての節度ある行動がとれる人になってほしいと思います。困った時にこそ、人の真価

は問われます。このことを忘れず、一人の人間として相手を受け入れる心の広さと優しさを持ち続け、自分磨きを続けてください。

今の一瞬一瞬の積み重ねが、これからの皆さん自身を作っていくのです。一つ一つの行動をよく考え、自分の未来を自分で作りあげてください。これまで、下級生を導いてくれ、本当にありがとうございました。きっと後輩たちも、みなさんにならって下級生の良いお手本となってくれることと思います。

卒業前には奉仕活動として学校の掃除や、自分たちから朝の挨拶運動をしてくれたことをとても嬉しく思います。自分たちで考え行動できる皆さんは立派です。全校生も少しでもみなさんをお祝いしたいという気持ちから、校舎内の掲示板にそれぞれ工夫して作成した作品が掲示されています。

保護者の皆様には、ご覧いただくことができませんので、今号で一部を紹介し、ともに祝いする気持ちを持ちたいと思います。



すてきなメッセージをありがとう。
そして、6年生の皆さん
ご卒業おめでとうございます

あいさつ運動の一コマ→



